資料－3④

仙台市における復興の状況・課題について

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

仙台うみの杜水族館

児童生徒が作った折り鶴の七夕飾り

深沼海水浴場 親水イベント

令和５年５月２８日

仙台市

仙台市　復興状況地図

被災宅地復旧
復興公営住宅整備
海岸防潮堤再整備
津波避難タワー
ドッグラン
せんだい3.11メモリアル交流館
国連防災世界会議
仙台駅
防災集団移転区域
JRフルーツパークあらはま
地下鉄東西線開業
震災遺構仙台市立荒浜小学校
まちの賑わい回復
東北ろっけんパーク
アクアイグニス仙台
東北六魂祭
農業の復興
かさ上げ道路
防災集団移転先
主な宅地被災箇所
復興公営住宅

復興の状況①（ハード整備の完了）

・令和４年３月をもって、全ての復興交付金事業が終了　⇒　ハード整備の完了

・集団移転先団地や復興公営住宅の整備をはじめとする生活再建に必要なハード整備に加え、かさ上げ道路整備などによる災害に強いまちづくりを実施

集団移転先団地	13地区　825区画
復興公営住宅	49カ所　3,206戸
東部復興道路 （かさ上げ道路）	整備延長10.2km

復興の状況②（産業再生・新たな魅力創出）

・蒲生北部地区における土地区画整理の実施、復興推進計画による税制優遇を活用した企業誘致に引き続き取り組んでいる

	区画数	面積
事業者決定済	31画地	約31.2ha
募集中	6画地	約0.7ha

（蒲生北部地区市有地の利活用状況）

建築が進んでいる民間バイオマス発電所

・また、防災集団移転跡地について、意欲のある事業者へ土地を貸し出すことにより、本市の新たな魅力の創出を進めている

	事業者数	面積
事業者決定済	17事業者 （34区画）	32.5ha

令和4年4月に開業したアクアイグニス仙台

本市における課題（継続的な心のケアの取組み）

・ハード整備が完了した一方、被災者が抱えている心の健康に関する課題は、依然多く見られ、今後も継続した取組みが必要

被災者に対する心のケア相談数（R3年度）	
訪問による相談	延べ431世帯
来所による相談	延べ327世帯
電話による相談	延べ1,120世帯
合計件数	延べ1,878世帯

せんだい3.11メモリアル交流館での活動

・心身の状態が心配される被災児童生徒が一定数いる現状を踏まえ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣などによる継続的な取組みが必要

心のケア支援チーム※の派遣校数	
R1年度	5校
R2年度	8校
R3年度	10校

※　心のケア支援チーム
震災等により心身の状態が心配される児童生徒の心のケアのため、精神科医、臨床心理士などからなる支援チームを編成し、支援が必要な市立学校に派遣している。

スクールカウンセラー派遣による心理教育